

どこがちがう？ 慣用句の直し③

なまえ _____

場めん に 合わない 慣用句を 直そう～人との かかわりの 場めん～

ひづけ _____

- ・問1～2は 下線が 引いて ある。問3からは、人との かかわりに 合わない 慣用句の ところに 自分で 下線を 引こう。
- ・場めん に 合う 慣用句に 直して、文ぜんぶを 横線に 書こう。ことばの おわりは かえて よい。
- ・問1～4は 下の 箱から えらぼう。箱の ない 問は、場めん に 合えば どの 慣用句でも よい。
- ・直さなくて よい 文は、下線を 引かずに、横線の 上に 『なおさない』と 書こう。

- (1) 場めん 重い にもつを 一人では 運べなかった。

友だちが 足を引っ張って くれた。

→ _____

- (2) 場めん 友だちの ひみつを、うっかり 話して しまった。

ぼくは 口が堅^{かた}かった。

→ _____

- (3) 場めん 父は どこへ 行っても、知り合いに 声を かけられる。

父は とても 顔が広い。

→ _____

- (4) 場めん クラスの みんなが 同じ 意見だった。

みんなは 口を挟^{はさ}んだ。

→ _____

- (5) 場めん 兄と 弟が けんかを した とき、母は 弟だけを かばって、味方 に なった。

母は 弟を 鼻であしらった。

→ _____

- (6) 場めん 新しい 友だちと 話すとき、好きな ものの 考え方も 同じで、すぐに なかよく なった。

わたしたちは 犬猿^{けんえん}の仲だった。

→ _____

- (7) 場めん けんかを した 友だちと、思っ てる ことを かくさずに ぜんぶ 話した。

ぼくは 猫^{ねこ}をかぶって 話した。

→ _____

- (8) 場めん 先生が 大切な 話を して いたので、みんな しずかに よく 聞いた。

みんなは 先生の 話に 耳にタコができた。

→ _____

- (9) 場めん 大玉おくりで、クラス全員が 気持ちを 合わせて 同じ ペースで 動いた。

クラス全員が 大きな顔を した。

→ _____

- (10) 場めん おばあちゃんは、庭の 花を 毎日 世話して、大切に 育てて きた。

おばあちゃんは 花を 手塩にかけて 育てた。

→ _____

ことばの 箱(問1～4で つかえます。つかわない ことばも あります)

口をそろえる

図に乗る

手を貸す

腹黒い

口が滑^{すべ}る

